

ヨシナカ新聞

10月号

発行所
 横浜陸ヨシナカ
 東京営業所
 TEL: 03-3555-0796

線状降水帯

先日、台風14号で線状降水帯が発生し、東海地方(特に静岡県)が大きな被害を受けました。この線状降水帯、次々と発生する積乱雲が列をなし、同じ場所を通過・停滞することで、線状に伸びた地域に大雨を降らせます。積乱雲1つ

の寿命は30分から1時間ぐらいで降水量は50~60mm程度ですが、それが重なって連続で

やって来ます。線状降水帯は2014年広島県での大雨から注目されるようになりました。



万年筆

私が中学生になった1973年頃、中学入学のお祝いは万年筆に人気があった記憶があります。何か大人になったよう

な不思議な感覚を今でも思い出します。

最近は大手文具メーカーから千円以下の安価な万年筆が販売されて、結構売れている

ようです。私も1本所有していますが、万年筆にはどんな種類があるのでしょうか。

万年筆のペン先の材質はステンレス等の特殊合金と金の2種類があります。特殊合金は安価で錆にも強いですが、弾力性が高めで修理・調整が難しいのが特徴です。ペン先の材質が金の万年筆の特徴は左図の通りです。耐食性に優れ、修理・調整がしやすく、含有率が高いほどペン先は柔らかくなりますが、特殊合金よりも圧倒的に高価になってしまいます。

文字/数字	意味
14	金を24分の14(約58.5%)の割合で含有
18	金を24分の18(約75.0%)の割合で含有
21	金を24分の21(約87.5%)の割合で含有
KまたはC	Karat又はCarat.もとは宝石の重さの単位。純金を24としたときの含有量を示す。
585	14金のパーセント表示である「58.5%」を意味
750	18金のパーセント表示である「75.0%」を意味

ラジオ

地震や台風等で災害が起こる度に”必要性が見直されるラジオ。かくいう私はラジオを聴くのが好きで、radioプレミアムで日本全国の放送を楽しんだりしています。

ラジオの発端はカナダの技術者、レジナルド・フェッセンデンから。彼は発明王トーマス・エジソンのもとで技術者として働きながら電気の技術



※国産第1号・鉍石ラジオ(現シャープ)

を学んでいました。そして1906年に世界で初めてのラジ

オ放送に成功しました。

それまで無線による通信はモールス信号でしたが、この放送ではフェッセンデンの生演奏や聖書の朗読が流れました。この放送はアメリカの自宅から8km離れた所でもはっきりと聞こえたそうですが、受信機は一般の家庭には普及しておらず、聴いたのは近くを通る船の無線の技師達だけでした。

1920年(大正9年)、アメリカの総合電気メーカー『ウェスティングハウス』が『KDDA』という放送局を設立し、この年行われたアメリカ大統領選の開票速報を放送しました。これが世界で初めての公共放送でした。

アメリカからラジオの存在が伝わったことで、日本でラジオ放送局の設

立が望まれるようになりました。特に1923年(大正12年)に発生した関東大震災では情報が途絶えたことで混乱が発生し、ラジオ放送の必要性がより問われることになり、1925年に「東京放送局」が設立され、日本で最初のラジオ放送がスタートしました。その後、「大阪放送局」、「名古屋放送局」が誕生しますが、この3つの放送局が統合されてできたのが現在の日本放送協会(NHK)です。

日本で最初のラジオを製造したのは現在のシャープで、1925年に国産では初めて”石・鉍石”を使ったラジオを製造しました。鉍石ラジオはラジオの受信機の原点といえるものでした。(ニッポン放送ラジオ「羽田美智子のいってらっしゃい」より)

部までが所定の温度に達していることが必要かつ鋼材の表面と中心部が極力同一温度になっていることが必要になるので、保持時間は十分な長さをとることが大切になります。このため、構造用鋼においては、所定の温度に達した後、鋼材の径または厚さ25mmあたり約30分保持するのが通常となっています。

特殊鋼豆知識

②等温焼なまし

鋼を高温から600~650℃に冷却し、この温度に30~60分保持後放冷する方法で、サイクルアニーリングとも呼ばれます。等温焼なましを行う目的は完全焼なましと同じです。連続操作が可能であり、所持時間も短く、能率的で、大量生産に適した方法で

等温焼なましの加熱温度は、鋼材の中心部までAc3点以上に達していることが必要です。加熱温度はAc3点よりも30~50℃高い温度とします。加熱温度が高過ぎると結晶粒を粗大化させ、鋼をもろくする恐れが生じます。

保持時間については、鋼材の中心